２０１４年年度　大分市スポーツ少年団
ミニバスケットボール　《４年生大会》　要項

１　趣旨
　本大会を通して、試合に出る機会の少ない４年生以下の技術・体力の向上や少年団員としてのマナーの向上を図るとともに、健全な心身の育成に努める。

２　主催
　大分市スポーツ少年団・大分市ミニバスケットボール連盟

３　期日及び会場
期日　１２月６日（土）
会場　戸次小学校・明治北小学校・鶴崎小学校

４　日程
　※開会式・開始式はありません。
８：４５～　指導者ミーティング
９：００～　試合
各会場試合終了後表彰式

５　参加資格
（１）スポーツ少年団本部に登録されたチームで、小学校４年生以下で編成されたチームであること。
（２）スポーツ傷害保険に加入していること。
（３）チームの人数が１０人に満たない場合でも参加を認める。

６　参加人員
チーム責任者１名、コーチ１名、アシスタントコーチ１名、マネージャー１名と選手１５名以内の１９名とする。

７　参加料
１チーム　**２０００円**

８　競技方法
男子・女子・混合パートに分かれてのリンクリーグ方式。各チーム２試合ずつ行う。

９　競技規則
（１）ベンチは、日程表上の左記記載のチームがオフィシャル席に向かって右側
ユニフォームは、原則として淡色を使用する。
（２）ベンチには、選手１５名以下、チーム責任者１名、コーチ１名、アシスタントコーチ１名、マネージャー１名とする。
ただし、ベンチ総人数１９名以内での５、６年生（補助、応援者）のベンチ入りを認める。
（３）試合時間は、４分－（１分）－４分－（３分のハーフタイム）－４分－（１分）－４分とする。試合間は最低８分間とる。）
（４）メンバー表は、前試合終了後直ちにオフィシャル席に提出する。
（５）第１、第２、第３、第４クォーターに出場するメンバーは、審判が１分前の合図したら、直ちにオフィシャルに報告する。
（６）**３秒ルール、３０秒ルールは適用しない。**
（７）同点の場合、延長戦は行わない。
ただし、両チーム５本のフリースローを行い、下記条件にて勝敗を決める。
１）じゃんけんに勝った主将のチームが、どちらが先に行うか決める。
２）フリースローは、交互に行う。
３）５本のフリースローを行い同点の場合は、サドンデス方式で勝敗を決める。
４）一度フリースローを行なった者は、チーム全員が打ち終わるまで、再び打つ

ことは出来ない。

（８）１０名以上のチームと１０名未満のチームの対戦であっても、試合は成立とする。対戦において、人数が多いチームは、少ないチームの人数を出場させればよい。ただし、１０名以上いるチームは、通常の試合通り３クォーターまでに１０名出場させることが望ましい。

（９）その他の規則については、現行の日本ミニバスケットボール競技規則に準ずる。

10　表彰　　２勝したチームに賞状を授与する。

11　注意

（１）“来たときよりも美しく”弁当のから、ごみは各団で持ち帰る。

（２）体育館内での飲食は、厳禁。

（３）体育館シューズと外履きの区別をする。

（４）解散するまで子どもにジュースやお菓子を与えない。

（５）試合中は、スポーツ少年団員らしくマナーを守り、正々堂々とプレーをするように指導する。

（６）ベンチや応援席では、審判及び相手チームに失礼のないように心がける。
（フリースローの時は静かにする　退場する選手への態度）。

（７）試合後は、全チームで片づけをする。

（８）各チームは、「駐車票」を車の見えるところに置いていく。各チーム５台を厳守する。また、駐車場入口にて駐車券の提示を求められた際は、必ず駐車券を提示すること。駐車係に従わない場合は、駐車を断ることもありうる。

12　その他

○各チームの指導者は、自分のチームの試合がない場合でも審判割り当ての都合上１試合目から参加する。

○審判、オフィシャルの割り当てを確認し、もし不都合の場合は必ず連絡する。

○公共物の使い方を十分団で指導しておく。

閉会式

【各会場共通】　　進行　（厚生部）

１	はじめの言葉	（司　会）
２	成績発表	（競技部）
３	表彰	（筒井会長　他大分市ミニ連役員）
４	講評	（筒井会長　他大分市ミニ連役員）
５	終わりの言葉	（司　会）

※各会場にて、対応をお願いします。